

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2014年12月18日(18.12.2014)



(10) 国際公開番号
WO 2014/199409 A1

- (51) 国際特許分類:
B65D 83/08 (2006.01) A47K 10/42 (2006.01)
A47K 7/00 (2006.01) B65D 51/26 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2013/003637
- (22) 国際出願日: 2013年6月10日(10.06.2013)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (72) 発明者; および
- (71) 出願人: 山田 菊夫(YAMADA, Kikuo) [JP/JP]; 〒1410022 東京都品川区東五反田1-2-15 ティアラ島津山305号 Tokyo (JP).
- (74) 代理人: 細井 勇, 外(HOSOI, Isamu et al.); 〒1040061 東京都中央区銀座8-19-3 銀座竹葉亭ビル8階 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN,

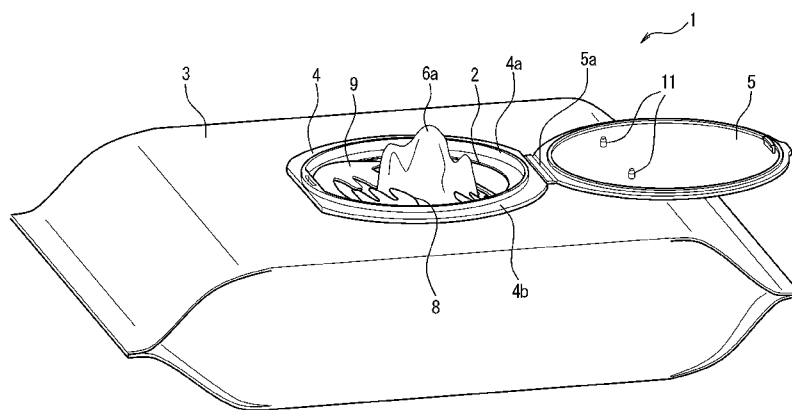
CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーロピア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:
— 国際調査報告 (条約第21条(3))

(54) Title: WET WIPE PACKAGING

(54) 発明の名称: ウェットティッシュ包装体



(57) Abstract: Provided is wet wipe packaging that can improve usability by a resistance applying member always pressing against the surface of a wet wipe stacked body when the bulkiness of the wet wipe stacked body in the packaging is reduced and that can be smoothly and easily assembled during manufacturing. The present invention is wet wipe packaging (1) having an extraction opening frame (4) for extracting to the exterior a wet wipe that is pulled from an opening (2) provided in packaging (3) accommodating a wet wipe layered body (6b) that is a folded wet wipe continuous body (6) that is a plurality of separably connected wet wipes, and an openable cover (5) that is mounted on the extraction opening frame (4), wherein the packaging is characterized by being provided with, on the extraction opening side of the extraction opening frame (4), a resistance applying member (9) that is biased in the direction in which the resistance on the wet wipe continuous body is to be applied and that is configured so that at least a portion of the resistance applying member penetrates from the opening of the packaging into the packaging interior, and in that the bottom of the extraction opening frame (4) is attached to the exterior of the packaging (3) so as to enclose the opening (2) of the packaging (3).

(57) 要約:

[続葉有]



WO 2014/199409 A1



袋体内のウェットティッシュ積層体の嵩高が減少した時に、抵抗付与部材がウェットティッシュ積層体の表面に常に押し付けられるようにして使用品質の向上を図ると共に、製造時の組立作業をスムーズ且つ容易に行うことができるウェットティッシュ包装体を提供する。本発明は、複数枚のウェットティッシュが分離可能に連続したウェットティッシュ連続体6を折り重ねたウェットティッシュ積層体6bが収納された袋体3に設けられた開口部2から引き出したウェットティッシュを、外方に取り出すための取出口枠体4と、該取出口枠体4に取り付けられた開放可能な蓋体5とを有するウェットティッシュ包装体1において、取出口枠体4の取出口側に、ウェットティッシュ連続体に抵抗を付与する方向に付勢され、少なくとも一部が袋体の開口部から袋体内に進入するように構成された抵抗付与部材9が設けられ、取出口枠体4の下面側が袋体3外面側に、袋体3の開口部2を取り囲むように取り付けられていることを特徴とする。

明 細 書

発明の名称： ウェットティッシュ包装体

技術分野

[0001] 本発明は、ウェットティッシュ積層体が袋体内に収納されたウェットティッシュ包装体に関する。

背景技術

[0002] ウェットティッシュ包装体は一般に、複数枚のウェットティッシュが直列に分離可能に連続したウェットティッシュ連続体を収納した容器内から、一枚ずつ引き出して使用するようになっている。そして近年は、収納容器が円筒状のボトルタイプのウェットティッシュ包装体だけでなく、収納容器が略直方体やピロー状等のような袋状に形成されたウェットティッシュ包装体も広く用いられている。

そのような袋状のウェットティッシュ包装体においては、ウェットティッシュ連続体の先端付近以外の部分を折り重ね合わせて形成されたウェットティッシュ積層体が袋体内に収納されていて、ウェットティッシュ連続体を先端側から外方向に引き出すための開口部が袋体の一つの面に形成されている（例えば、特許文献1、2）。

[0003] 一方、袋体の開口部から引き出したウェットティッシュ連続体に負荷を加えてウェットティッシュ連続体からウェットティッシュを1枚ずつ分離して取り出すとともに、取り出したウェットティッシュより後続のウェットティッシュ連続体の先端を保持する機能を備えた抵抗付与孔と、取出口の開閉を可能に構成された蓋とを備えたプラスチック等からなる取出口枠体を取り付けたウェットティッシュ包装体も知られている（例えば、特許文献3）

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献1：特開2004-196303号公報

特許文献2：特開2010-173649号公報

特許文献3：特開2004-331158号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0005] ウェットティッシュ積層体が袋体内に格納されたウェットティッシュ包装体においては、ウェットティッシュが消費されるのに伴って、袋体内に折り重ね合わされて収納されているウェットティッシュ積層体の嵩高が次第に低くなっていく。

すると、ウェットティッシュ積層体の表面と抵抗付与孔との間隔が離れることにより、抵抗付与孔を通過するウェットティッシュ連続体の緊張状態が緩くなり、その結果、ウェットティッシュ連続体に付与される抵抗が小さくなってウェットティッシュ連続体が抵抗付与孔をすり抜け易くなる。

その結果、ウェットティッシュ連続体から1枚のウェットティッシュがうまく分離しなくなったり、ウェットティッシュ連続体からのウェットティッシュの分離のタイミングに遅れが発生したりして、使用者の意に反してウェットティッシュが複数枚連なって出てきてしまうという問題が生じる。また、取出口が蓋によって確実に閉じられなくなり、ウェットティッシュ連続体が袋体内で乾燥して使用時の品質の低下を招いてしまったりする場合がある。

[0006] このような問題を解決することを目的として、本願出願人は、抵抗付与孔を有する抵抗付与部材を、ウェットティッシュ積層体の表面に押し付けられるように付勢した状態で取出口枠体に設け、ウェットティッシュ連続体が先端側から引き出されるのに伴うウェットティッシュ積層体の嵩高の減少に伴って、抵抗付与部材が付勢力でウェットティッシュ積層体側に移動するように構成されたウェットティッシュ包装体を提案し先に出願した（PCT/J P 2 0 1 3 / 0 0 1 7 0 0）。このウェットティッシュ包装体によれば、ウェットティッシュが消費されて袋体内におけるウェットティッシュ積層体の嵩高が次第に低くなっても、ウェットティッシュ積層体の表面と抵抗付与孔との間隔が離れなくなり、ウェットティッシュ連続体に付与される抵抗が小さ

くならないようにすることができる。その結果、ウェットティッシュ連続体から1枚のウェットティッシュがうまく分離され、複数枚のウェットティッシュが連なって取り出されたり、閉蓋が不確実となって袋体内でウェットティッシュ連続体が乾燥する等の不具合の発生も防止することができる。

[0007] 従来、上述のような抵抗付与孔と蓋とを有する取出口枠体を設けたウェットティッシュ包装体は、通常、取出口枠体を袋体内面側から開口部外側に突出させ、取出口枠体の取り付け部上面側を袋体の内面側に固着して、取出口枠体を取り付ける構成が採用されている。そのようにすると、取出口枠体に対して袋体を熱融着で固着することができ、接着剤を使用しなくて済み、接着剤にかかるコストを削減できるメリットがある。しかしながら、袋体内面側に取出口枠体を取り付ける場合、袋体の開口部から外側に突出するような大きさ、形状に取出口枠体を形成する必要がある、ウェットティッシュ包装体の開口部の形状、大きさの違いに応じた種々の取出口枠体を用意する必要があり、いくつもの取出口枠体を製造するためのコストや、異なる部品を管理、保管するための煩雑な手間やコストがかかるという問題があった。また取出口枠体を袋体に取り付けるに際し、取出口枠体を袋体内面側から、袋体の開口部に挿入することになるが、取出口枠体の袋体外側に突出する部分は、袋体の開口部とほぼ同じ大きさ、形状に形成されているため、取り付け作業に正確性と慎重性を有するという問題があった。

[0008] 本発明はそのような問題を解決するためのものであり、ウェットティッシュが消費されて袋体内のウェットティッシュ積層体の嵩高が減少した時に、抵抗付与部材がウェットティッシュ積層体の表面に常に押し付けられるようにして使用品質の向上を図れるだけでなく、袋体の開口部の形状、大きさの違いに応じたいくつもの取出口枠体を用意することなく汎用的な部材の利用が可能であり、優れた使用品質を有していながら安価なウェットティッシュ包装体を提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

[0009] 上記の目的を達成するため、本発明のウェットティッシュ包装体は、複数

枚のウェットティッシュが分離可能に連続したウェットティッシュ連続体を折り重ねて形成したウェットティッシュ積層体と、該ウェットティッシュ積層体が収納される袋体と、該袋体に設けられたウェットティッシュ取り出し用の開口部と、該開口部から引き出したウェットティッシュを外方に取り出すための取出口を有する取出口枠体と、該取出口枠体に取り付けられ、取出口を閉塞及び開放可能な蓋体とを有するウェットティッシュ包装体において、前記取出口枠体の取出口側には、抵抗付与孔を有し、ウェットティッシュ連続体に抵抗を付与する方向に付勢された抵抗付与部材が、少なくともその一部が袋体の開口部から袋体内に進入可能に設けられているとともに、取出口枠体は、その下面側を袋体の外面側に接合することによって取出口が袋体の開口部を取り囲むように取り付けられていることを特徴とする。

本発明のウェットティッシュ包装体は、袋体の開口部が、開口部を封止するシール面と、該シール面周縁から連設して設けられ、シール面の上面側に折り返し形成された引き剥がし用の摘み片とを有するフラップシールのシール面を、袋体外表面に貼着して密閉されていても良い。また本発明のウェットティッシュ包装体は、抵抗付与部材の一端が上記取出口枠体に支持され、他端の自由端側が付勢力により上記ウェットティッシュ積層体の表面に押し付けられるように構成されていても良く、抵抗付与部材は、取出口枠体と一体に形成されていても良い。

発明の効果

[0010] 本発明によれば、抵抗付与部材が付勢力で袋体内のウェットティッシュ積層体の表面に常に押し付けられることにより、ウェットティッシュが消費されて袋体内におけるウェットティッシュ積層体の嵩高が次第に低くなっても、ウェットティッシュ積層体の表面と、抵抗付与部材に設けられた抵抗付与孔との間隔が大きく離れることがなくなり、ウェットティッシュ連続体に付与される抵抗が小さくならないので、ウェットティッシュ連続体がうまく分離されて使用品質が向上できる。また本発明のウェットティッシュ包装体は、取出口枠体を、その下面側を袋体の外面側に接合することによって取り付け

ているため、取出口が袋体の開口部を取り囲むような大きさ、形状に形成されていれば、ウェットティッシュ包装体の種類の違いによる開口部の形状や大きさに応じた取出口枠体をいくつも用意する必要がなく、汎用的な部材を使用することが可能であるため、しかも取り付け作業も容易であり、使用品質がより向上していながら安価に提供される等の効果を奏する。

図面の簡単な説明

[0011] [図1]図1は、本発明の実施例に係るウェットティッシュ包装体の使用状態における外観斜視図である。

[図2]図2は、本発明の実施例に係るウェットティッシュ包装体の、使用前の状態を示す側面側の縦断面図である。

[図3]図3は、本発明の実施例に係るウェットティッシュ包装体の分解斜視図である。

[図4]図4は、本発明の実施例に係るウェットティッシュ包装体において、蓋体が開放された状態の取出口枠体内側の状態を示す斜視図である。

[図5]図5は、本発明の実施例に係るウェットティッシュ包装体においてフラップシールを取り外す状態を示す取出口枠体部分の斜視図である。

[図6]図6は、本発明の実施例に係るウェットティッシュ包装体の使用状態において、抵抗付与部材を袋体の内側から見た状態の斜視図である。

[図7]図7は、抵抗付与部材の異なる取り付け状態を示す要部側面の略図である。

発明を実施するための形態

[0012] 本発明の実施例を図面に基づいて説明する。

図1～図6は本発明の一実施例のウェットティッシュ包装体を示している。

図1はウェットティッシュ包装体1の使用状態の外観斜視図である。開口部2が一つの面の中央部分に形成された袋体3は、気密性を有する可撓性のあるプラスチックフィルム等により、開口部2以外の開放部分をヒートシール等によって封止して、例えばピロー形状の袋状に形成されている。袋体3

は一層構造のプラスチックフィルム等で構成してよいが、複数層の積層フィルム等で構成してもよい。袋体3の内部には、ウェットティッシュ積層体6bが収納されている(図2)。

開口部2は、ウェットティッシュ連続体6の先端部分6aを外方に引き出すために、袋体3の最も広い一方の面の中央部分に開口形成されている。開口部2には剛性あるプラスチック材等からなる環状の取出口枠体4が取り付けられている。そして、取出口枠体4には、開口部2を外方から閉塞及び開放自在な蓋体5が開閉自在に連設されている。蓋体5は、閉じられた状態では、取出口枠体4の環状の外端縁部4aの全周にわたって嵌合し、取出口枠体4の外端縁部4a内側に形成される取出口を閉塞する。取出口枠体4と蓋体5は、例えばポリエチレン、ポリプロピレン等の熱可塑性樹脂により、回動動作の軸になるヒンジ部5aを介して一体成型で形成されている。ただし、取出口枠体4と蓋体5を別体で形成して組み合わせた構成にしてもよい。

この実施例の取出口枠体4は、例えば円形又は楕円形状のような環状に形成されている。ただしその他の環状形状であっても差し支えない。そして、その底部外周には鏝状部4bが突出形成され、取出口部材4は、開口部2の外縁から離れた位置において開口部2の周囲を囲むように、鏝状部4bの下面側を、袋体3の外表面にホットメルト等の接着剤により気密に固着されている。

[0013] 図2は、ウェットティッシュ包装体の側面側の縦断面図である。袋体3内に収納されたウェットティッシュ積層体6bは、複数枚の独立した枚葉式のウェットティッシュにおいて、隣り合うウェットティッシュを互いに端部どうしで重ね合わせたウェットティッシュ連続体6を折り畳んだものであり、いわゆるZ折り、W折り、WZ折り等の態様で折り畳んで積層したものである。

それにより、ウェットティッシュ連続体6の先端部分6aが開口部2から外方に引き出された場合、その引き出されたウェットティッシュ連続体6の後端が、次に積層されたウェットティッシュ連続体6の先端と接触しなくな

ることにより、一枚のウェットティッシュとしてウェットティッシュ連続体6から分離される。

ウェットティッシュ連続体6は、基布に薬剤等を含浸させたもので、基布素材としては、例えば合成繊維若しくは天然繊維からなる紙、織布又は不織布等が用いられるが、その他の材料からなるものを使用しても良い。また薬液等としては、例えば、アルコール類、水又はこれらの混合物があげられるが、香料、抗菌剤、消臭剤、界面活性剤、防腐剤、色素、消泡剤、酸化防止剤、清澄剤、可溶化剤等を配合してもよく、またその他の薬液等を使用してもよい。

[0014] 袋体3の開口部2部分を囲むように袋体3の外表面に固着された取出口枠体4には、前述のように、蓋体5がヒンジ部5aを中心に回動自在に連設されている。図2には、蓋体5が閉じられて取出口枠体4が閉塞された状態が実線で図示され、開放された状態の蓋体5が二点鎖線で示されている。

袋体3の開口部2は、袋体3の外面に貼着されたフラップシール20により密閉されている。フラップシール20は、ウェットティッシュ包装体1の分解斜視図である図3に詳細に図示されているように、折り返し部21にて二つ折り状に形成されて上下二枚に重ね合わされた構成を有している。フラップシール20の下側のシール面22は、開口部2全体を密封することができる大きさに形成され、上側の摘み片23はシール面22よりも細幅に形成され、摘み片23はシール面22を引き剥がす際の摘み部として構成されている。そして、折り返し部21から離れた位置にある摘み片23の端部24は、指先で摘み易いように、シール面22の外周縁より少し外方に突出するように形成されている。

そのように構成されたフラップシール20は、シール面22の下面（裏面）が袋体3の表面に貼着され、図2に示されるように、未使用状態のウェットティッシュ包装体においては、開口部2がフラップシール20により密封されている。その結果、ウェットティッシュ包装体が長期間保存されたような場合でも、袋体3内のウェットティッシュ積層体6bが乾燥せず、また取

出口枠体 4 を袋体 3 に接着する接着剤がウェットティッシュ積層体 6 b から発生する薬剤等の蒸気の悪影響を受けない等のメリットがある。なお、フラップシール 20 は必ずしもこの実施例に示したような、シール面 22 と摘み片 23 とが一体に形成されたものである必要はなく、例えば、別体のシール面と摘み片とを、折り返し部 21 により連結した構成等であっても差し支えない。

[0015] 取出口枠体 4 の内側領域には、通過するウェットティッシュ連続体 6 に抵抗を付与するための抵抗付与孔 8 が形成された抵抗付与部材 9 が配置されている（図 1、図 3）。抵抗付与孔 8 は公知のものであり、ウェットティッシュ連続体 6 が袋体 3 内から外方に引き出される際に、抵抗付与孔 8 から、その内側を通過するウェットティッシュ連続体 6 に摩擦抵抗が作用することにより、抵抗付与孔 8 内を通過したばかりの位置にある分離可能部においてウェットティッシュ連続体 6 が分離され、分離可能部より先側に位置するウェットティッシュ連続体 6 の、先端部分 6 a から分離可能部分までが一枚のウェットティッシュとして取り出される。そして、その後方に残されたウェットティッシュ連続体 6 の最先端部分が抵抗付与孔 8 から少しだけ外方に突出した状態で保持される。なお、抵抗付与孔 8 は各種形状のものが公知であり、それらのうちのどのような形状のものも採用することができる。またウェットティッシュ連続体 6 から一枚のウェットティッシュを分離し、かつ次のウェットティッシュ連続体 6 の先端部分を保持できるような抵抗をウェットティッシュ連続体に付与できれば、抵抗付与孔 8 の形状は公知のもの以外であっても差し支えない。

そのような抵抗付与孔 8 が形成された抵抗付与部材 9 は、取出口枠体 4 と一体又は別体に形成されていて、取出口枠体 4 に抵抗付与部材 9 の一端側のみが固定された、所謂、片持ち支持された状態になっている。そして、その抵抗付与部材 9 の自由端 9 a 側が開口部 2 内を通過して袋体 3 内に入るように付勢されている。この実施例では、抵抗付与部材 9 自体が有する弾性により付勢力が抵抗付与部材 9 に付与されているが、抵抗付与部材 9 に付勢力を与

えるための弾性材等を別設してもよい。

そのような構成により、図1に示されるようにフラップシール20が取り外された状態であれば、抵抗付与部材9は、図2に示すように、自由端9a側が付勢力によりウェットティッシュ積層体6bの嵩高の減少量に応じて二点鎖線で示す位置から一点鎖線で示す位置へと袋体3内で下方に移動し、ウェットティッシュ積層体6bの嵩高が低下しても、抵抗付与部材9がウェットティッシュ積層体6bの表面に押し付けられた状態が持続される。なお、図2にはフラップシール20が取り外されていない状態が図示されているが、抵抗付与部材9の移動に関してはフラップシール20が取り外されているものとして説明をした。

[0016] このようにして、ウェットティッシュ積層体6bの嵩高が減少した状態では、抵抗付与部材9が、ウェットティッシュ連続体6の引き出し方向に対して傾いた状態になる。その結果、抵抗付与孔8からウェットティッシュ連続体6に対して強い摩擦抵抗が作用して、ウェットティッシュ連続体6における先頭のウェットティッシュを適切な位置で分離させて引き出すことができる。

そのような抵抗付与部材9は、例えば図3に示されるように、取出口枠体4から蓋体5と180度逆の方向に突出する状態で、取出口枠体4と一体成型で形成されている。ただし、抵抗付与部材9を取出口枠体4とは別の部材で形成し、取出口枠体4に係合する等の方法で取り付けても差し支えない。蓋体5は、図3に示される矢印A方向に回動させ、取出口形成部材4の取出口が開閉可能となるように使用される。一方、抵抗付与部材9は、矢印B方向に回動させて取出口枠体4との連結部9bが折り曲げられ、取出口枠体4の底部側から取出口枠体4の内側（取出口側）に位置するように配置される。その結果、抵抗付与部材9に矢印Bと逆方向の付勢力が発生する。

したがって、製造組立時に取出口枠体4を袋体3に取り付けようとするとき、抵抗付与部材9が取出口枠体4内から飛び出してしまうとスムーズに組み立てを行うのが困難となる虞がある。そこで、この実施例では、抵抗付与部

材 9 と係脱自在に係合して抵抗付与部材 9 を取出口枠体 4 内の領域に保持することができる短ピン状の保持体 1 1 を蓋体 5 の裏面から突出して設けるとともに、この保持体 1 1 が弾力的に嵌め込まれる係合孔 1 2 を抵抗付与部材 9 側に設けることで、上記のような問題を解決している。保持体 1 1 は蓋体 5 に一体成型により形成することができ、また保持体 1 1 の頭部にスリ割りを形成するなどの工夫を加えれば、係合孔 1 2 に対する保持体 1 1 の係合力がより安定したものになる。

[0017] 図 2 に示すように、蓋体 5 から突出する保持体 1 1 が抵抗付与部材 9 に形成された係合孔 1 2 に嵌め込まれることで、抵抗付与部材 9 が蓋体 5 の近傍に引き寄せられて保持される。このように構成することで、取出口枠体 4 を袋体 3 に固着する際に、下方に突出した抵抗付与部材 9 によって取出口枠体 4 の固着作業が妨げられることがなく、取り付けをスムーズに行うことができる。ウェットティッシュ包装体 1 が製造された後、蓋体 5 が初めて開かれるまでは、その状態が保持される。そして、蓋体 5 が一度開かれると、保持体 1 1 と係合孔 1 2 との係合が外れて、保持体 1 1 による抵抗付与部材 9 の保持状態が解除される。

[0018] 図 4 は、フラップシール 2 0 で開口部 2 が密閉された袋体 3 の外面側に、取出口枠体 4 を取り付けした後、蓋体 5 を開いた際 of 取出口枠体 4 内の状態を示す。このとき保持体 1 1 による抵抗付与部材 9 の保持状態は解除されているため、抵抗付与部材 9 が付勢力によってフラップシール 2 0 側に押し付けられた状態になっている。そこでフラップシール 2 0 を剥がして使用を開始する時には、図 5 に示されるように、抵抗付与部材 9 の自由端 9 a 側を上方に持ち上げ、フラップシール 2 0 の摘み片 2 3 の端部 2 4 を指先で摘んで引っ張ってシール面 2 2 を袋体 3 から剥離し、フラップシール 2 0 を取出口枠体 4 内から取り外して、図 1 に示される使用状態にすることができる。図 6 は、その時の抵抗付与部材 9 の状態を袋体 3 の内側から見た状態を示しており、袋体 3 内側（矢印 C 方向）に向かって付勢された抵抗付与部材 9 の自由端 9 a 側が、開口部 2 を通って袋体 3 内に入り込み、図示されていないウェ

ットティッシュ積層体 6 b の表面に押し付けられる。

なお、保持体 1 1 は抵抗付与部材 9 を保持できる構造のものであれば、必ずしも蓋体 5 の裏側に突出形成された短ピン状の部材でなくてもよく、抵抗付与部材 9 を取出口枠体 4 内に適宜に保持できるものであればいかなる形状、構造であっても良い。また、蓋体 5 を開いた時に保持体 1 1 と抵抗付与部材 9 の係合孔 1 2 との係合が外れるように構成されたものに限らず、蓋体 5 を開いた後に、手で抵抗付与部材 9 との係合を外すように構成されたものであっても差し支えない。更に、保持体 1 1 は蓋体 5 の裏面側に設ける場合に限らず、取出口枠体 4 等に設けることもできる。

[0019] 上記実施例では、袋体 3 の開口部 2 をフラップシール 2 0 で密閉し、使用に際してフラップシール 2 0 を引き剥がすように構成した例を示したが、開口部 2 をハーフカット状にシールで密閉しておき、使用に際してハーフカット部分を袋体 3 内に押し込んだり、引き剥がして開封するように構成しても良い。またフラップシールの代わりに、取出口枠体 4 の取出口をプルトップ蓋で密閉し、使用に際してプルトップ蓋を引き抜いて開封するように構成することもできる。

[0020] また上記実施例では、抵抗付与部材 9 の一端側を取出口枠体 4 に固定して抵抗付与部材 9 を片持ち支持した場合について示したが、図 7 に示すように抵抗付与部材 9 の両端を取出口枠体 4 に固定した、所謂両持ち支持としても良い。例えば図 7 (A) に示すように、取出口枠体 4 に固定したジャバラ 2 5 に抵抗付与部材 9 の両端を取り付け、圧縮したジャバラ 2 5 の復元力によって抵抗付与部材 9 を付勢しても良い。また図 7 (B) に示すように一端を取出口枠体 4 に固定したバネ 2 6 の他端に、抵抗付与部材 9 の両端をそれぞれ固定し、圧縮したバネ 2 6 の復元力によって抵抗付与部材 9 を付勢しても良い。更に図 7 (C) に示すようにバネに代えて弾性体 2 7 に抵抗付与部材 9 を固定し、弾性体 2 7 が湾曲するように圧縮してその復元力により付勢しても良い。また図 7 (D) に示すように、弾性体等からなる棒状の支持体 2 8 の一端を折り曲げて取出口枠体 4 に取り付け、支持体 2 8 の他端を抵抗付

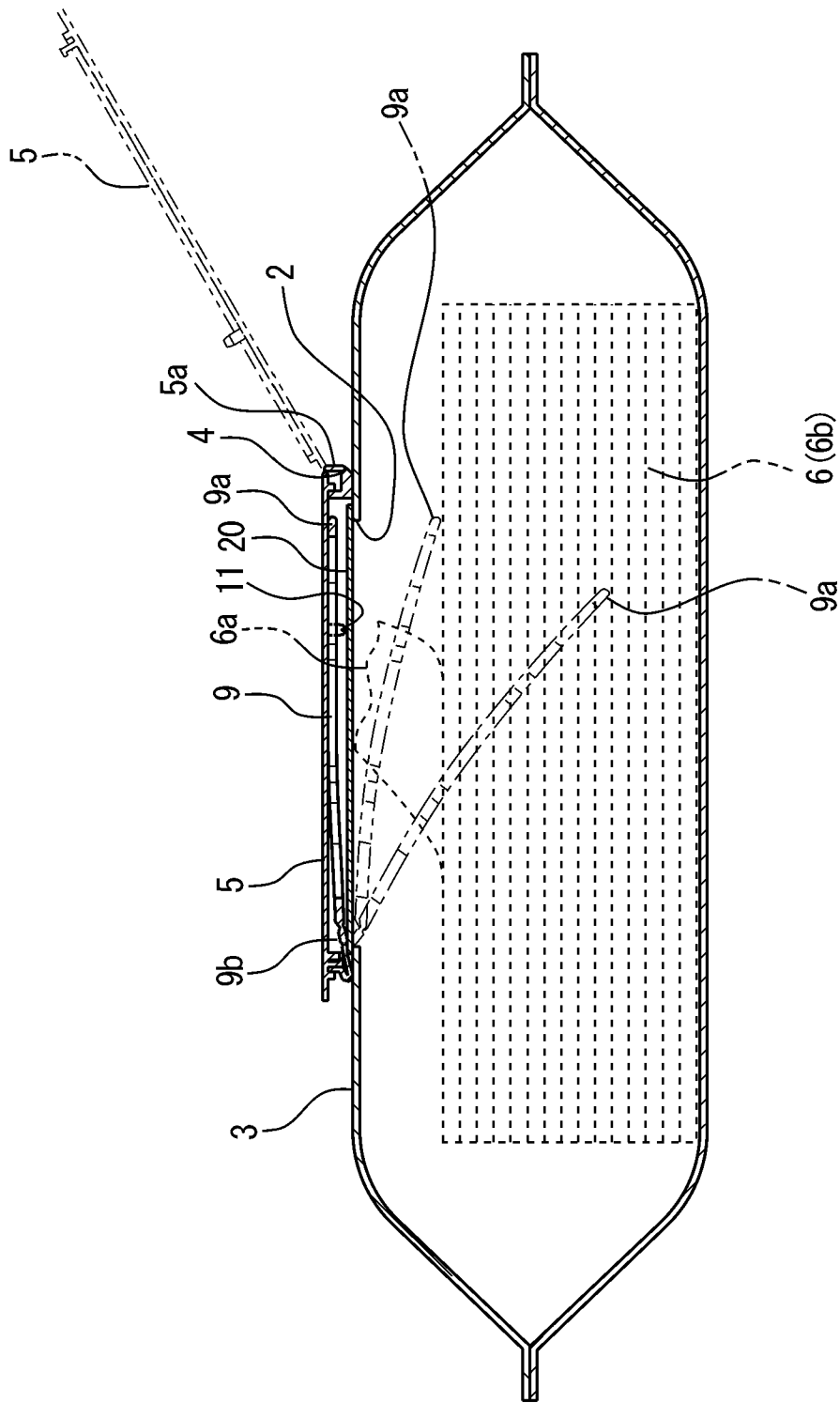
与部材 9 に固定し、圧縮した折り曲げ部 28 a を圧縮した際の復元力により抵抗付与部材 9 を付勢しても良い。上記弾性体としては例えば、ゴム、プラスチック等が挙げられ、その他、弾性を有する素材であれば、これらに限定はされないが、通常はゴム、プラスチックが好ましい。尚、抵抗付与部材 9 を図 7 に示すような両持ち支持した場合、袋体 3 の開口部 2 は、ハーフカット状にシールで密閉し、ハーフカット部分を袋体 3 内に押し込んで開封するように構成するか、取出口枠体 4 の取出口をプルトップ蓋で密閉し、プルトップ蓋を引き抜いて開封するように構成することが好ましい。

[0021] 本発明は、上記の実施例に限定されるものではなく、請求の範囲に記載された発明の概念に含まれる全ての態様を含むものである。

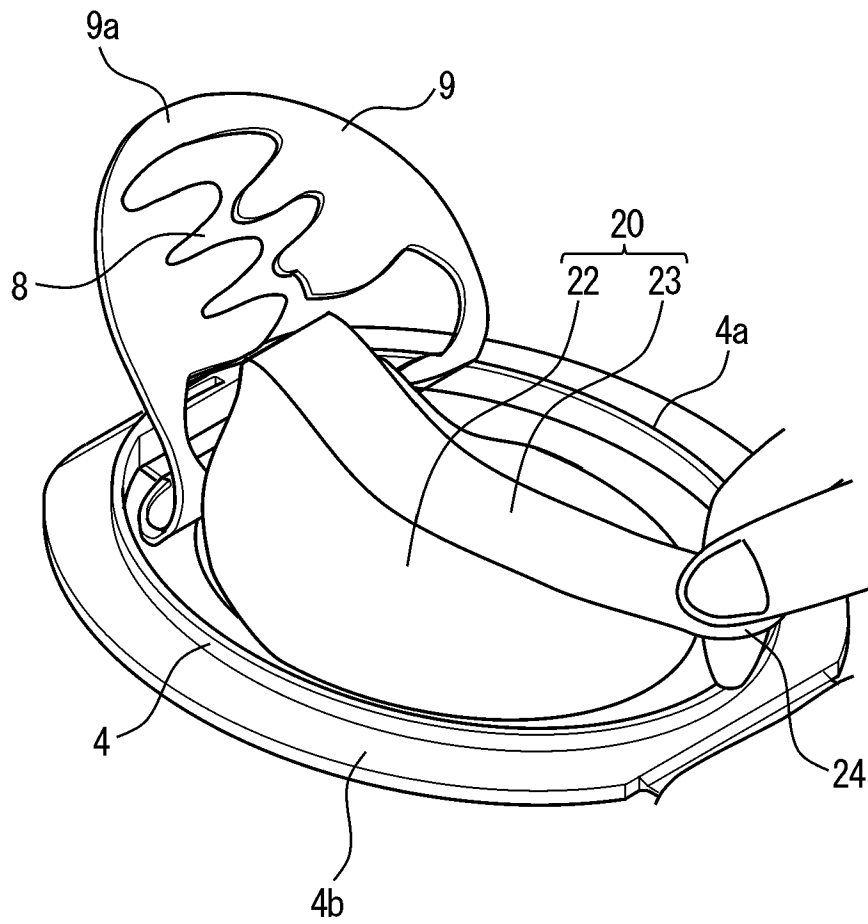
請求の範囲

- [請求項1] 複数枚の独立した枚葉のウェットティッシュを隣り合うウェットティッシュを互いに端部どうしで重ね合わせたウェットティッシュ連続体を折り畳んだウェットティッシュ積層体と、該ウェットティッシュ積層体が収納される袋体と、該袋体に設けられたウェットティッシュ取り出し用の開口部と、該開口部から引き出したウェットティッシュを外方に取り出すための取出口を有する取出口枠体と、該取出口枠体に取り付けられ、取出口を閉塞及び開放可能な蓋体とを有するウェットティッシュ包装体において、
- 前記取出口枠体の袋体側には、ウェットティッシュ連続体に抵抗を付与する方向に付勢された抵抗付与孔を有する抵抗付与部材があり、前記抵抗付与部材は、少なくともその一部が袋体の開口部から袋体内に進入可能に設けられているとともに、取出口枠体の下面が袋体の外面側に、袋体の開口部を取り囲むように取り付けられているウェットティッシュ包装体。
- [請求項2] 袋体の開口部は、開口部を封止するシール面と、該シール面周縁から連設して設けられ、シール面の上面側に折り返し形成された引き剥がし用の摘み片とを有するフラップシールのシール面を、袋体外表面に貼着して密閉されている請求項1記載のウェットティッシュ包装体。
- [請求項3] 抵抗付与部材を、付勢力に抗して取出口枠体に係止される保持体を有する請求項1又は2記載のウェットティッシュ包装体。
- [請求項4] 上記抵抗付与部材は、一端が上記取出口枠体に支持され、他端の自由端側が付勢力により上記ウェットティッシュ積層体の表面に押し付けられるように構成されている請求項1～3のいずれかに記載のウェットティッシュ包装体。
- [請求項5] 上記抵抗付与部材は、上記取出口枠体と一体に形成されている請求項4記載のウェットティッシュ包装体。

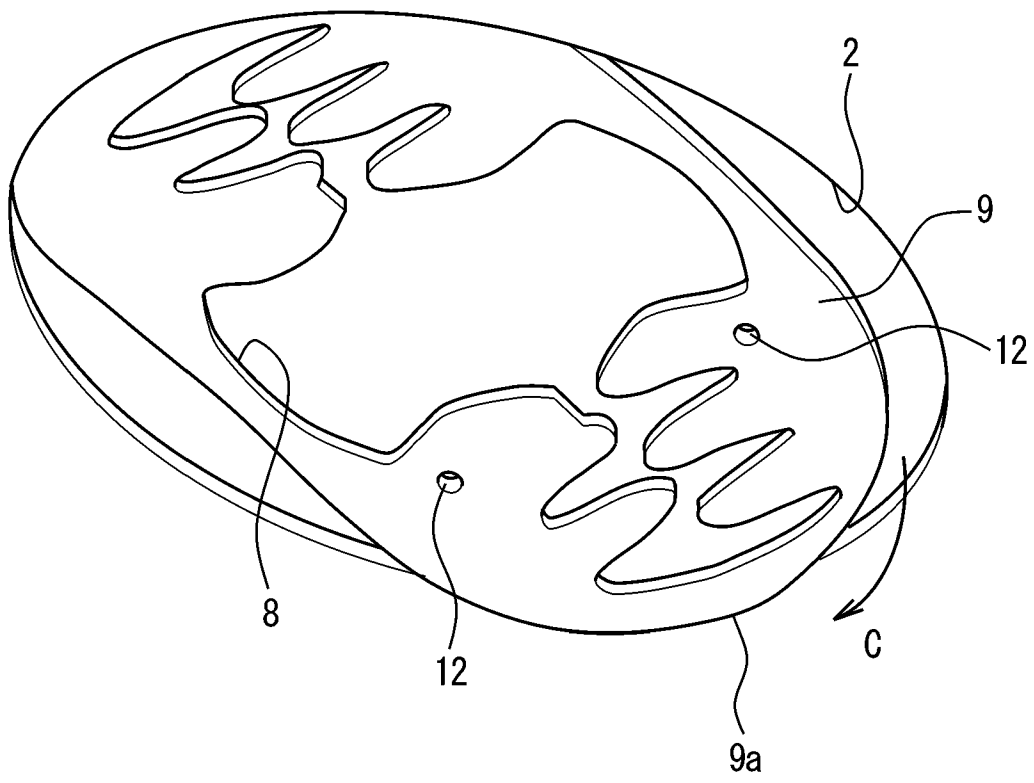
[図2]



[図5]

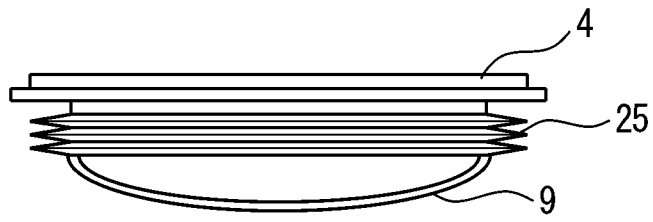


[図6]

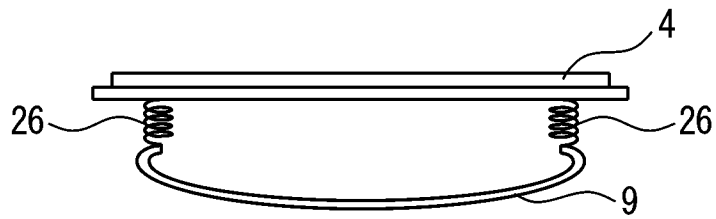


[図7]

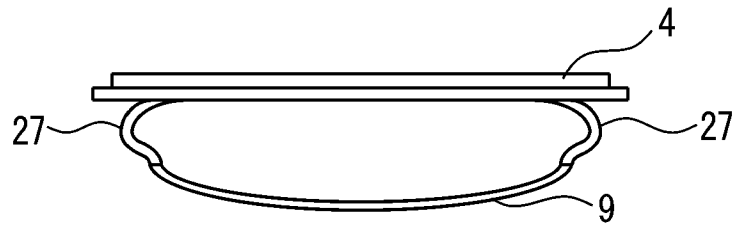
(7A)



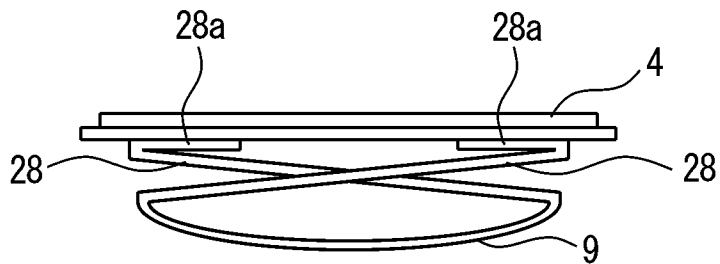
(7B)



(7C)



(7D)



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2013/003637

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
B65D83/08(2006.01)i, A47K7/00(2006.01)i, A47K10/42(2006.01)i, B65D51/26(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
B65D83/08, A47K7/00, A47K10/42, B65D51/26

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

<i>Jitsuyo Shinan Koho</i>	<i>1922-1996</i>	<i>Jitsuyo Shinan Toroku Koho</i>	<i>1996-2013</i>
<i>Kokai Jitsuyo Shinan Koho</i>	<i>1971-2013</i>	<i>Toroku Jitsuyo Shinan Koho</i>	<i>1994-2013</i>

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y A	JP 9-132280 A (Uni-Charm Corp.), 20 May 1997 (20.05.1997), paragraph [0010]; fig. 1 to 3 (Family: none)	1-2, 4-5 3
Y A	JP 6-292639 A (JEX Co., Ltd.), 21 October 1994 (21.10.1994), paragraphs [0016] to [0019]; fig. 6 to 11 (Family: none)	1-2, 4-5 3

Further documents are listed in the continuation of Box C. See patent family annex.

* Special categories of cited documents:	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance	"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date	"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)	"&" document member of the same patent family
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means	
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	

Date of the actual completion of the international search 02 September, 2013 (02.09.13)	Date of mailing of the international search report 17 September, 2013 (17.09.13)
--	---

Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office	Authorized officer
Facsimile No.	Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))
 Int.Cl. B65D83/08(2006.01)i, A47K7/00(2006.01)i, A47K10/42(2006.01)i, B65D51/26(2006.01)i

B. 調査を行った分野
 調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))
 Int.Cl. B65D83/08, A47K7/00, A47K10/42, B65D51/26

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの
 日本国実用新案公報 1922-1996年
 日本国公開実用新案公報 1971-2013年
 日本国実用新案登録公報 1996-2013年
 日本国登録実用新案公報 1994-2013年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y A	JP 9-132280 A (ユニ・チャーム株式会社) 1997. 05. 20, 段落【0010】、【図1】 - 【図3】 (ファミリーなし)	1-2, 4-5 3
Y A	JP 6-292639 A (ジェクス株式会社) 1994. 10. 21, 段落【0016】 - 【0019】、【図6】 - 【図11】 (ファミリーなし)	1-2, 4-5 3

C欄の続きにも文献が列挙されている。 パテントファミリーに関する別紙を参照。

<p>* 引用文献のカテゴリー</p> <p>「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの</p> <p>「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの</p> <p>「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)</p> <p>「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献</p> <p>「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願</p>	<p>の日の後に公表された文献</p> <p>「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの</p> <p>「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの</p> <p>「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの</p> <p>「&」同一パテントファミリー文献</p>
---	---

国際調査を完了した日 02.09.2013	国際調査報告の発送日 17.09.2013
--------------------------	--------------------------

国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/J P) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 豊島 唯	3 N	9 4 3 2
	電話番号 03-3581-1101 内線 3361		